六月号塾だより

発行
2021.5.22
編集
山口学習塾
山口将志
樋口淳一
天沼龍一
矢田力椰

今月号のトピックス

・一学期期末テスト対策
・サポーターについて
・中２、中３募集再開
・その他

一学期期末テスト対策

6月3日（木）から一学期期末テスト対策が始まります。まだ中間テスト対策中ではありますが、今回のテスト対策で気になった部分は、我々からの課題を机にしまってなかなか手をつけない生徒がいること。何が分かってないのか、何が弱点なのか、把握しないことには点数を上げることなどできません。

ノートまとめや教科書を読む勉強は効果がないとは言いませんが、自分一人で完結するような学習は、「分かったつもりになってしまう」「勉強をやったつもりになってしまう」という危険性も高いのです。プリントをどんどん提出して、どんどんミスを見つけ、それを暗記していく、そのような我々とのやり取りがある勉強の方が頭に入る知識の量、知識の確実性からすれば、安全性が高いのです。

いつも同じ勉強をして成績がなかなか上がらない生徒は勉強方法を変えなくてはいけません。今、サポーターとして働いてくれている子に成績を上げるコツみたいなものはあるか聞いて見たところ、「やれと言われたことを全部やる。」と答えてくれました。プリントを後回しにして終わらなかった生徒は、もらったプリントは即仕上げる、それを意識してみてください。

サポーターについて

本年度は2名が就職のため山口学習塾から旅立ち、新たに6名がサポーターとして仲間に加わってくれました。まだまだ生徒の皆さんと関わる時間も少ないので、話しかけづらい部分があるかと思いますが、ぜひ積極的に質問などしてほしいと思います。

講師の手が空いていないときなど、気軽にサポーターの先輩たちに声をかけてくれればと思います。

新教室使用について

一学期中間テスト対策期間中は新教室の近隣にお住いの数名の生徒さんに使用してもらっていましたが、一学期期末テスト対策期間からは近隣生徒に加え、成績や中学校などを考慮し、何名かに新教室で学習をしてもらうことになると思います。また、新教室は山口が管理することが多くなると思います。
新教室でのテスト対策をお願いする生徒さんには、直接お声がけ致しますのでよろしくお願いいたします。

中２、中３募集再開

旭町に新教室を開校しましたので座席に余裕ができました。つきましては入塾制限をしていた**中2、中3生の募集枠を各学年とも5名で再開**いたします。

中１生の募集枠は12名ございますが、例年の様子から一学期中間テスト後にお問い合わせが多くなることが予想されます。ご検討中の方がいらっしゃいましたら、お声掛けいただければ幸いです。

２つのお願い

「中学3年生たち、諦めなさい。遊ぶこと、休むこと、そしてちょうどいい生活、ちょうどいい勉強をすることを諦めなさい。これは毎年受験生たちに伝える言葉ですが、君たちはこの一年、山口学習塾で過ごしていく限りは、心地よい、ちょうどいい自分なりの生活などできないと覚悟してください。6月半ば、運動部の多くの3年生が最後の大会を終えます。部活動引退、受験勉強の始まりです。君たちは塾が開いている限り、毎日塾に来て勉強しなければいけません。入試が終わるまで、ずっとテスト対策が続くようなものだと考えれば分かりやすいはずです。

平日は毎日3時間半の学習が待っています。授業がある、ないは関係ありません。授業がなくても来なければいけないのです。この終わりの見えない長い戦いは「休みたい、遊びたい」そんな気持ちを諦められなければ、まず乗り切ることはできません。「今日くらい良いか」それで休んだとしたら、おそらく次の日も塾に来ることができないでしょう。「今日くらい息抜きをしよう」その間に、周りのライバルはどんどん成績を伸ばしていくのです。君たちが休める日、遊べる日は、塾が休みのときだけです。それを受け入れてください。それ以外を諦めてください。そうでなければ耐えられない厳しい戦いが始まるのです。」

これは一昨年の６月号塾だよりで塾長の山口が受験生に向けた言葉です。毎年、受験勉強が始まる６月号塾だよりには山口の受験生へのメッセージが書かれていますが、去年の６月の塾だよりには受験生へのメッセージは書かれていません。去年の今頃は塾は休校中でした。６月から通常の授業を再開し、受験勉強が始まったのは夏期講習明けの８月半ば頃からでした。

今年の受験生には山口からではなく私から２つお願いがあります。１つ目は、決してあきらめないでください。今、目指している理想の志望校を。これから先、何度も北辰テストで厳しい判定が来ることでしょう。学校の先生との面談で、ＮＯを突き付けられる生徒もいるかもしれません。でも、決してあきらめないでください。卒業生の中には北辰テストで一度も合格判定が出なかった高校に進学していった生徒たちもいます。学校の先生から「受けるのは自由だけど、結果は期待するな。」と半ば見放された生徒も合格を勝ち取ったこともあります。思い出してください。何のために山口学習塾に足を踏み入れたのか？成績を上げるためですよね？そして、成績を上げるための長時間の辛い学習に耐えてきたのは何のためなのか？自分の思い描いた志望校に合格するためでしょう？この一年間はまさにこれまで自分がやってきたことが試される年となり、ここから受験まで、他の塾では体験できないような普通ではない学習が皆さんを待っています。

2つ目は、最後までやり切ってください。この先、長い受験勉強の間、不安になったり、くじけてしまいそうになったり、全てを投げ出したくなったりすることもあるかもしれません。ですが心配しないでください。そういった不安や挫折は、去年の受験生も、一昨年の受験生も、その前の受験生も、卒業生の矢田やサポーターたちも経験し、乗り越えてきていることです。彼らにできたことが皆さんにできないということは絶対にありません。必ず乗り越えられます。ここから長い戦いとなりますが、志望校合格を自分の手で必ず掴み取ってください。

(樋口)

本の紹介コーナー

「命短し、本はをかし」

米澤穂信著『氷菓』

突然ですがみなさん、「古典」と言われれば、何を連想しますか。個人的に好きな古典作品は「枕草子」で、春のやわらかい景色、夏の暗闇、秋の寂しさ、冬の凛とした空気が端的に表されていて、読むたびに季節の美しさを味わえます。

米澤穂信著『氷菓』は神山高校の古典部を舞台に繰り広げられる日常の謎を扱ったミステリー小説です。２０１２年に京都アニメーションによってアニメ化もされました。

この作品は謎解きも素晴らしいですが、高校生、という限定された時間の重みもあざやかに描いています。当然のことながら、時間は常に流れていて今、この時間もいつか「古典」になってしまいます。いつか学校を卒業し、大人になり、仕事に就く。途方もない時間が皆さんの将来に待ち構えているのです。そんな未来から今を振り返った時、後悔しない時間を生きているか、そんな問いが作品全体を通して示されているような気がします。皆さんはどうでしょう。いつか大人になり、過ぎ去った青春時代を振り返った時、後悔しないような「今」が送れているでしょうか。

『氷菓』を初めて読んだのは主人公の折木奉太郎くんと同じ、高校一年生のころだったかと思います。そんな私もいつの間にか二十歳、折木くんの年齢を通り越し、高校生活は遠い古典になってしまいました。化石のような高校生活でしたが、決して悪くのないものでした。友人は少なかったですが、なんやかんや良い人ばかりだったと思います。教訓めいた結びとなりますが、皆さんが、そして折木くんが、後悔しない「今」「青春」が過ごせますよう、こころから願っております。

（サポーター　大崎）